

トールフェスクの利用によりミネラルバランスの良い飼料の自給を目指してはいかがでしょうか。

家畜改良センター

○トールフェスクとは

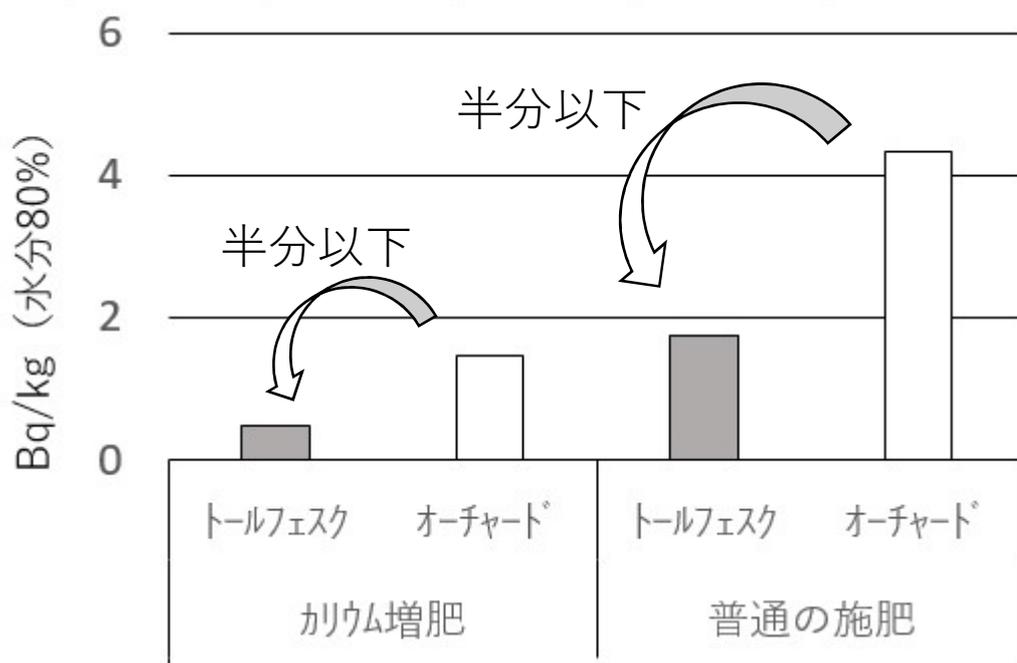
イネ科の多年草です。夏の高温、乾燥に良く耐え、越夏性が高く、収量も多い草種で、放牧や採草用草地に使われます。

オーチャードより持続性優れる反面、刈り遅れると嗜好性が落ちやすいため適期の利用を推奨します。



トールフェスクの収穫風景
1番草穂ばらみ期刈取作業
家畜改良センター本所 福島県西郷村

○カリウム施肥レベルと牧草の放射性セシウム濃度



1番牧草のセシウム濃度

オーチャードグラスからトールフェスクへの草種変更で、ミネラルバランスのコントロールと放射性セシウム濃度の抑制を両立しやすくなります。

○トールフェスク（品種：ウシブエ）の採食性

福島県農業総合センター畜産研究所において黒毛和種繁殖雌牛はトールフェスクをオーチャードグラスと同等に採食することが確認されています。

参考<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/375038.pdf>



トールフェスク粗飼料給与の様子
(家畜改良センター本所)

○トールフェスク利用上の留意点

▶草地更新に関して

種子からの初期生育が遅いので、オーチャードグラスとは播種適期が異なります。また適切な雑草対策が必要となります。

▶採草利用に関して

トールフェスクが根を十分に張るまでは、トールフェスクの定着を優先した収穫作業が必要となります。

定着後は、飼養する家畜に応じて、穂ばらみ期～出穂初期の適期刈りを行いましょう。

家畜改良センターでは、トールフェスクの性質に合わせた『採草利用のコツ』を明らかにするための調査に取り組んでいます。

オーチャードグラスとは採草利用のコツが異なりますので、詳細は家畜改良センターまでお問合せください。

問い合わせ先

家畜改良センター 企画調整部 管理課

TEL:0248-25-2738 FAX:0248-25-0471